

ふれあいと感動の学校教育

経営

全教職員が協力して活力と規律ある開かれた学校経営をする
<ul style="list-style-type: none"> ○全教職員を生かした機能的な運営組織を確立する。 □□ ◎学習指導要領を遵守し、学校や地域の特色等を生かした創意ある教育課程を編成・実施する。 □□ ◎児童生徒の命を守り切ることが最優先に考え、一人一人の安全・安心の確保に努め、家庭や地域社会・関係諸機関との連携を図り、適切かつ確実な危機管理体制を確立する。 □□ ○積極的な情報提供に努め、学校評価や児童生徒の実態等を学校経営や指導の改善に生かし、その状況を公表することにより、開かれた学校づくりを推進する。 □□ ○コンプライアンスに関する研修を行って教職員の資質向上を図り、勤務の適性化を推進し、学校経営の充実を図る。 □□

大切にしたいこと

- ◇一人一人に「生きる力」を育む指導をする
— 確かな学力・豊かな心・健やかな体 —
- ◇学校の教育目標の具現に徹し、活力と規律ある開かれた学校経営をする

研修

自己の課題を明確にし、主体的に研修を進め、確かな指導力を身に付ける
<ul style="list-style-type: none"> ○校内の研究課題や自己の課題を明確にし、組織的・継続的な研修を行う。 □□ ○経験年数や職務に応じた専門性を高める研修を行う。 □□ ◎共感的な児童生徒理解に基づく指導を充実し、学級経営や生徒指導の力を高める研修を行う。 □□ ○ICT活用や情報モラルについて理解を深め、指導力を高める研修を行う。 □□ ◎特別な支援を必要とする児童生徒の教育的ニーズに応じた指導力を高め、支援体制を充実させるための研修を行う。 □□

「教科指導」「外国語（英語）教育」「生徒指導」「キャリア教育」「福祉教育」は重点領域 ©印は重点内容

<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">教科指導</td> <td>主体的・対話的で深い学びの実現を目指して、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育てる</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○指導内容の系統や児童生徒の発達の段階を踏まえて学力・学習状況を把握し、指導内容の重点化を図るとともに個の学習状況に応じたきめ細かな指導を充実する。 □□ ◎基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育む問題解決型の学習指導を充実する。 □□ ◎互いの見方・考え方から学び合うことを通して、自己の考え方を広げ深めるなど質の高い学びを実現するよう学習集団を育成するとともに、学習習慣を確立する指導を充実する □□ </td> </tr> <tr> <td>道徳教育</td> <td>自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全体を通して道徳性が養われるよう、道徳科の授業を要として他の教育活動との関連を明確にした指導計画の工夫改善を図る。 □□ ◎道徳的価値の理解を自分との関わりで考えたり、多様な考え方や感じ方に接して多面的・多角的に考えたりして、主体的に自己の生き方についての考えを深める道徳科の授業を充実する。 □□ ○豊かな体験を通して道徳性が養われるよう、家庭や地域社会、小・中学校との連携を強化し、ふるさと教育や福祉的な活動の実践に取り組むなど、地域ぐるみの道徳教育を推進する。 □□ </td> </tr> <tr> <td>外国語（英語）教育</td> <td>英語による言語活動を通して、コミュニケーション能力の素地・及び基礎となる資質・能力を育てる</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション能力の素地・及び基礎となる資質・能力が育まれるよう、児童の実態や学習段階を考慮し、6学年間を見通した町の年間指導計画をもとに授業の充実に努める。 □□ ◎主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ることができるよう、ICT教材の活用など指導方法の工夫改善を図り、積極的に実践する。 □□ ○授業交流等を通して小・中学校との連携を図り、指導体制を整え、校内、及び町全体の研修の充実を図る。 □□ </td> </tr> <tr> <td>総合的な学習の時間</td> <td>探究的な学習を通して、よりよく問題を解決する資質・能力を育てる</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○育てようとする資質・能力及び態度、各教科等との関連を一層明確にし、課題意識が連続し発展するよう全体計画及び指導計画を工夫改善する。 □□ ○体験活動と言語活動を意図的に設定し、探究活動を充実する。 □□ ◎一人一人の学習状況や成果を把握し、指導・援助を充実する。 □□ </td> </tr> <tr> <td>特別活動</td> <td>所属感を高め、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の実態や発達段階を考慮し、自主的、実践的な活動を促すよう指導計画を工夫改善する。 □□ ○自己の活動や生き方を振り返り新たな目標や課題がもてるよう、一人一人のよさや可能性を発揮して、よりよい人間関係を築く力が高められるよう指導と評価を工夫する。 □□ ◎学級の諸問題を解決する活動を通して、よりよい生活や望ましい人間関係が築けるよう学級経営を充実する。 □□ </td> </tr> <tr> <td>生徒指導</td> <td>共感的な理解に徹し、望ましい人間関係の形成を図り、自己指導能力を育てる</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒一人一人についての児童生徒理解の深化を図る。 □□ ○生徒指導の基盤となる、教師と児童生徒との信頼関係を築く。 □□ </td> </tr> </table>	教科指導	主体的・対話的で深い学びの実現を目指して、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育てる		<ul style="list-style-type: none"> ○指導内容の系統や児童生徒の発達の段階を踏まえて学力・学習状況を把握し、指導内容の重点化を図るとともに個の学習状況に応じたきめ細かな指導を充実する。 □□ ◎基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育む問題解決型の学習指導を充実する。 □□ ◎互いの見方・考え方から学び合うことを通して、自己の考え方を広げ深めるなど質の高い学びを実現するよう学習集団を育成するとともに、学習習慣を確立する指導を充実する □□ 	道徳教育	自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる		<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全体を通して道徳性が養われるよう、道徳科の授業を要として他の教育活動との関連を明確にした指導計画の工夫改善を図る。 □□ ◎道徳的価値の理解を自分との関わりで考えたり、多様な考え方や感じ方に接して多面的・多角的に考えたりして、主体的に自己の生き方についての考えを深める道徳科の授業を充実する。 □□ ○豊かな体験を通して道徳性が養われるよう、家庭や地域社会、小・中学校との連携を強化し、ふるさと教育や福祉的な活動の実践に取り組むなど、地域ぐるみの道徳教育を推進する。 □□ 	外国語（英語）教育	英語による言語活動を通して、コミュニケーション能力の素地・及び基礎となる資質・能力を育てる		<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション能力の素地・及び基礎となる資質・能力が育まれるよう、児童の実態や学習段階を考慮し、6学年間を見通した町の年間指導計画をもとに授業の充実に努める。 □□ ◎主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ることができるよう、ICT教材の活用など指導方法の工夫改善を図り、積極的に実践する。 □□ ○授業交流等を通して小・中学校との連携を図り、指導体制を整え、校内、及び町全体の研修の充実を図る。 □□ 	総合的な学習の時間	探究的な学習を通して、よりよく問題を解決する資質・能力を育てる		<ul style="list-style-type: none"> ○育てようとする資質・能力及び態度、各教科等との関連を一層明確にし、課題意識が連続し発展するよう全体計画及び指導計画を工夫改善する。 □□ ○体験活動と言語活動を意図的に設定し、探究活動を充実する。 □□ ◎一人一人の学習状況や成果を把握し、指導・援助を充実する。 □□ 	特別活動	所属感を高め、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる		<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の実態や発達段階を考慮し、自主的、実践的な活動を促すよう指導計画を工夫改善する。 □□ ○自己の活動や生き方を振り返り新たな目標や課題がもてるよう、一人一人のよさや可能性を発揮して、よりよい人間関係を築く力が高められるよう指導と評価を工夫する。 □□ ◎学級の諸問題を解決する活動を通して、よりよい生活や望ましい人間関係が築けるよう学級経営を充実する。 □□ 	生徒指導	共感的な理解に徹し、望ましい人間関係の形成を図り、自己指導能力を育てる		<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒一人一人についての児童生徒理解の深化を図る。 □□ ○生徒指導の基盤となる、教師と児童生徒との信頼関係を築く。 □□ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎特別な配慮を要する（障がいのある、日本語の習得に困難のある、不登校、不登校傾向）児童生徒に対して、特性を踏まえた適切な支援を行う。 □□ ◎自他を尊重し、互いの身になって考え、相手のよさを見付けようと努める集団、互いに協力し合い、主体的によりよい人間関係を形成していこうとする集団づくりを進める。 □□ ○児童生徒が生き生きと授業に参加し、分かる喜びや学ぶ意義を実感できる授業づくりを進める。 □□ ○児童生徒の健全な育成を、広い視野から考える開かれた生徒指導の推進を図る。 □□ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">キャリア教育</td> <td>社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育てる</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育について、全教職員の理解を深め、基礎的・汎用的能力の実態から育成すべき能力や態度を重点化し、小・中学校との連携を図り、全体計画、題材系統図を工夫改善する。 □□ ○望ましい勤労観・職業観が育つよう、学級活動や総合的な学習の時間等との関連を図った体験活動等を意図的・計画的に位置付けるとともに、事前や事後の指導を充実する。 □□ ◎一人一人が自己の能力・適性や多様な可能性を理解し、将来の夢や希望の実現に向けて自分のよさを生かし主体的に進路選択ができるよう指導・援助する。 □□ </td> </tr> <tr> <td>健康教育</td> <td>運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ◎食生活等の生活習慣や心身の健康状態、体力・運動能力、安全に対する意識・行動を的確に把握し、指導内容の明確化・重点化を図る。 □□ ○健康で安全に生き抜く力が育つよう、個に応じた指導を充実する。 □□ ○学校と家庭、地域社会が連携した組織体としての総合的な力を発揮して、児童生徒の健康・安全を守り切るために、健康被害や事件事故及び自然災害等による被害の未然防止に万全を期す。 □□ </td> </tr> <tr> <td>特別支援教育</td> <td>一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の教育的ニーズを正しく理解し、特別支援教育コーディネーターを中心に外部機関と連携して全教職員が組織的に指導する。 □□ ◎保護者や関係機関との連携のもと、「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成・活用し、一貫した支援を行う中で、一人一人が能力や特性を発揮し主体的に活動できるよう、指導内容や指導方法・評価を工夫改善する。 □□ ○ねらいを明確にした交流及び共同学習を計画的・継続的に実施し、相互理解を深めるとともに、社会性や豊かな人間性を育むことができるよう指導する。 □□ </td> </tr> <tr> <td>人権教育</td> <td>身近な人権問題に対する正しい認識と理解を深め、人間尊重の態度を育てる</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○全教育活動を通して「認識力」・「自己啓発力」・「行動力」を培うよう努める。 □□ ◎児童生徒一人一人の個性が尊重され、仲良く助け合い、励まし合える好ましい人間関係を醸成する。 □□ ○家庭や地域社会等と連携し、正義感を尊重するなど人間尊重の精神の啓発を図る。 □□ </td> </tr> <tr> <td>福祉教育</td> <td>思いやりと連帯の心を育てる</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ◎他者を理解し思いやりの心が育つよう、さまざまな教育活動の中で活動のねらいや価値を明確にしたボランティア活動・福祉活動を充実する。 □□ ○学校間や家庭、地域社会、関係諸機関と連携し、地域に根付いたボランティア活動・福祉活動を充実する。 □□ </td> </tr> </table>	キャリア教育	社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育てる		<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育について、全教職員の理解を深め、基礎的・汎用的能力の実態から育成すべき能力や態度を重点化し、小・中学校との連携を図り、全体計画、題材系統図を工夫改善する。 □□ ○望ましい勤労観・職業観が育つよう、学級活動や総合的な学習の時間等との関連を図った体験活動等を意図的・計画的に位置付けるとともに、事前や事後の指導を充実する。 □□ ◎一人一人が自己の能力・適性や多様な可能性を理解し、将来の夢や希望の実現に向けて自分のよさを生かし主体的に進路選択ができるよう指導・援助する。 □□ 	健康教育	運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる		<ul style="list-style-type: none"> ◎食生活等の生活習慣や心身の健康状態、体力・運動能力、安全に対する意識・行動を的確に把握し、指導内容の明確化・重点化を図る。 □□ ○健康で安全に生き抜く力が育つよう、個に応じた指導を充実する。 □□ ○学校と家庭、地域社会が連携した組織体としての総合的な力を発揮して、児童生徒の健康・安全を守り切るために、健康被害や事件事故及び自然災害等による被害の未然防止に万全を期す。 □□ 	特別支援教育	一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる		<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の教育的ニーズを正しく理解し、特別支援教育コーディネーターを中心に外部機関と連携して全教職員が組織的に指導する。 □□ ◎保護者や関係機関との連携のもと、「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成・活用し、一貫した支援を行う中で、一人一人が能力や特性を発揮し主体的に活動できるよう、指導内容や指導方法・評価を工夫改善する。 □□ ○ねらいを明確にした交流及び共同学習を計画的・継続的に実施し、相互理解を深めるとともに、社会性や豊かな人間性を育むことができるよう指導する。 □□ 	人権教育	身近な人権問題に対する正しい認識と理解を深め、人間尊重の態度を育てる		<ul style="list-style-type: none"> ○全教育活動を通して「認識力」・「自己啓発力」・「行動力」を培うよう努める。 □□ ◎児童生徒一人一人の個性が尊重され、仲良く助け合い、励まし合える好ましい人間関係を醸成する。 □□ ○家庭や地域社会等と連携し、正義感を尊重するなど人間尊重の精神の啓発を図る。 □□ 	福祉教育	思いやりと連帯の心を育てる		<ul style="list-style-type: none"> ◎他者を理解し思いやりの心が育つよう、さまざまな教育活動の中で活動のねらいや価値を明確にしたボランティア活動・福祉活動を充実する。 □□ ○学校間や家庭、地域社会、関係諸機関と連携し、地域に根付いたボランティア活動・福祉活動を充実する。 □□
教科指導	主体的・対話的で深い学びの実現を目指して、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育てる																																												
	<ul style="list-style-type: none"> ○指導内容の系統や児童生徒の発達の段階を踏まえて学力・学習状況を把握し、指導内容の重点化を図るとともに個の学習状況に応じたきめ細かな指導を充実する。 □□ ◎基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育む問題解決型の学習指導を充実する。 □□ ◎互いの見方・考え方から学び合うことを通して、自己の考え方を広げ深めるなど質の高い学びを実現するよう学習集団を育成するとともに、学習習慣を確立する指導を充実する □□ 																																												
道徳教育	自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる																																												
	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全体を通して道徳性が養われるよう、道徳科の授業を要として他の教育活動との関連を明確にした指導計画の工夫改善を図る。 □□ ◎道徳的価値の理解を自分との関わりで考えたり、多様な考え方や感じ方に接して多面的・多角的に考えたりして、主体的に自己の生き方についての考えを深める道徳科の授業を充実する。 □□ ○豊かな体験を通して道徳性が養われるよう、家庭や地域社会、小・中学校との連携を強化し、ふるさと教育や福祉的な活動の実践に取り組むなど、地域ぐるみの道徳教育を推進する。 □□ 																																												
外国語（英語）教育	英語による言語活動を通して、コミュニケーション能力の素地・及び基礎となる資質・能力を育てる																																												
	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション能力の素地・及び基礎となる資質・能力が育まれるよう、児童の実態や学習段階を考慮し、6学年間を見通した町の年間指導計画をもとに授業の充実に努める。 □□ ◎主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ることができるよう、ICT教材の活用など指導方法の工夫改善を図り、積極的に実践する。 □□ ○授業交流等を通して小・中学校との連携を図り、指導体制を整え、校内、及び町全体の研修の充実を図る。 □□ 																																												
総合的な学習の時間	探究的な学習を通して、よりよく問題を解決する資質・能力を育てる																																												
	<ul style="list-style-type: none"> ○育てようとする資質・能力及び態度、各教科等との関連を一層明確にし、課題意識が連続し発展するよう全体計画及び指導計画を工夫改善する。 □□ ○体験活動と言語活動を意図的に設定し、探究活動を充実する。 □□ ◎一人一人の学習状況や成果を把握し、指導・援助を充実する。 □□ 																																												
特別活動	所属感を高め、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる																																												
	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の実態や発達段階を考慮し、自主的、実践的な活動を促すよう指導計画を工夫改善する。 □□ ○自己の活動や生き方を振り返り新たな目標や課題がもてるよう、一人一人のよさや可能性を発揮して、よりよい人間関係を築く力が高められるよう指導と評価を工夫する。 □□ ◎学級の諸問題を解決する活動を通して、よりよい生活や望ましい人間関係が築けるよう学級経営を充実する。 □□ 																																												
生徒指導	共感的な理解に徹し、望ましい人間関係の形成を図り、自己指導能力を育てる																																												
	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒一人一人についての児童生徒理解の深化を図る。 □□ ○生徒指導の基盤となる、教師と児童生徒との信頼関係を築く。 □□ 																																												
キャリア教育	社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育てる																																												
	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育について、全教職員の理解を深め、基礎的・汎用的能力の実態から育成すべき能力や態度を重点化し、小・中学校との連携を図り、全体計画、題材系統図を工夫改善する。 □□ ○望ましい勤労観・職業観が育つよう、学級活動や総合的な学習の時間等との関連を図った体験活動等を意図的・計画的に位置付けるとともに、事前や事後の指導を充実する。 □□ ◎一人一人が自己の能力・適性や多様な可能性を理解し、将来の夢や希望の実現に向けて自分のよさを生かし主体的に進路選択ができるよう指導・援助する。 □□ 																																												
健康教育	運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる																																												
	<ul style="list-style-type: none"> ◎食生活等の生活習慣や心身の健康状態、体力・運動能力、安全に対する意識・行動を的確に把握し、指導内容の明確化・重点化を図る。 □□ ○健康で安全に生き抜く力が育つよう、個に応じた指導を充実する。 □□ ○学校と家庭、地域社会が連携した組織体としての総合的な力を発揮して、児童生徒の健康・安全を守り切るために、健康被害や事件事故及び自然災害等による被害の未然防止に万全を期す。 □□ 																																												
特別支援教育	一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる																																												
	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の教育的ニーズを正しく理解し、特別支援教育コーディネーターを中心に外部機関と連携して全教職員が組織的に指導する。 □□ ◎保護者や関係機関との連携のもと、「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成・活用し、一貫した支援を行う中で、一人一人が能力や特性を発揮し主体的に活動できるよう、指導内容や指導方法・評価を工夫改善する。 □□ ○ねらいを明確にした交流及び共同学習を計画的・継続的に実施し、相互理解を深めるとともに、社会性や豊かな人間性を育むことができるよう指導する。 □□ 																																												
人権教育	身近な人権問題に対する正しい認識と理解を深め、人間尊重の態度を育てる																																												
	<ul style="list-style-type: none"> ○全教育活動を通して「認識力」・「自己啓発力」・「行動力」を培うよう努める。 □□ ◎児童生徒一人一人の個性が尊重され、仲良く助け合い、励まし合える好ましい人間関係を醸成する。 □□ ○家庭や地域社会等と連携し、正義感を尊重するなど人間尊重の精神の啓発を図る。 □□ 																																												
福祉教育	思いやりと連帯の心を育てる																																												
	<ul style="list-style-type: none"> ◎他者を理解し思いやりの心が育つよう、さまざまな教育活動の中で活動のねらいや価値を明確にしたボランティア活動・福祉活動を充実する。 □□ ○学校間や家庭、地域社会、関係諸機関と連携し、地域に根付いたボランティア活動・福祉活動を充実する。 □□ 																																												